



公開学術講演会「感染症との闘い」の開催について（お知らせ）

開催概要：平成 27 年 8 月 5 日（水）13 時 30 分から、北海道大学医学部学友会館「フラテ」ホールにおいて、公開学術講演会「感染症との闘い」を開催します。

開催趣旨：

この度、日本学術会議第二部（生命科学分野）部会の開催に合わせ、最近、特に問題となっている新興・再興感染症や多剤耐性菌に焦点を当て、これらと闘う第一線の研究者による講演会を企画しました。

感染症は有史以前から人々を苦しめ、その脅威は今も変わっていません。昨年起こった西アフリカでのエボラウイルスの流行は、致死率の高さから世界を恐れさせ、本年 5 月には韓国で MERS 感染が広がりました。しかし、むやみに感染症を恐れるのではなく、科学的に対処することが重要です。本講演会を通し、感染症に対する理解を深め、適切な対応につながることを願います。

日程：平成 27 年 8 月 5 日（水）13 時 30 分～16 時 35 分

場所：北海道大学医学部学友会館「フラテ」ホール（札幌市北区北 15 条西 7 丁目）

主催：日本学術会議第二部，日本学術会議北海道地区会議

共催：北海道大学

参加対象：講演内容に関心のある方はどなたでも参加可能です。

参加費：無料

言語：日本語

プログラム：

挨拶

大西 隆（日本学術会議会長・第三部会員，豊橋技術科学大学学長）

山口 佳三（北海道大学総長）

講演

13:40～14:15 「“鳥”インフルエンザと“新型”インフルエンザの誤解を解く」

喜田 宏（北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター特任教授）

14:15～14:50 「アジアに出現した新興感染症 ―ニパウイルス感染症―」

甲斐知恵子（日本学術会議第二部会員，東京大学医科学研究所教授）

14:50～15:00 休憩

15:00～15:30 「SARS と MERS:動物由来コロナウイルスによるヒトにおける感染症の病態, 疫学, そして, 対策」

西條 政幸 (国立感染症研究所ウイルス第一部部長)

15:30～16:05 「エボラウイルス –研究の現状と展望–」

高田 礼人 (北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター教授)

16:05～16:35 「「多剤耐性菌」にいかに向かうか」

石黒 信久 (北海道大学病院感染制御部長)

閉会挨拶

笠原 正典 (北海道大学大学院医学研究科長)

申し込み方法 :

電話, FAX または E-mail で以下へお申し込みください。

日本学術会議北海道地区会議事務局 (北海道大学研究推進部研究振興企画課)

TEL : 011-706-2155 FAX : 011-706-4873 E-mail : suishin@general.hokudai.ac.jp

URL : <http://www.scj.go.jp/ja/event/index.html>

お問い合わせ先

所属・職・氏名 : 北海道大学研究推進部研究振興企画課総務担当 かんぼら 勘原・中原

TEL : 011-706-2155, 2166 FAX : 011-706-4873 E-mail : suishin@general.hokudai.ac.jp